

介護老人福祉施設サービス重要事項説明書

（ 令和 元 年 10 月 1 日 現在 ）

1.利用者（被保険者）様

要介護状態区分	要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・要介護5
要介護認定有効期間	令和 年 月 日から
認定審査会意見	

2.事業者

事業所の名称	社会福祉法人 誠光会
所在地	北九州市八幡東区藤見町3番1号
代表者氏名	長谷川 稔
電話番号	093-663-2030
FAX番号	093-663-2032

3.利用施設

事業所の名称	特別養護老人ホームさわみ園
所在地	北九州市戸畑区沢見二丁目5番2号
管理者氏名	神野 みどり
電話番号	093-881-2066
FAX番号	093-881-2067

4.事業の目的と運営方針等

(1) 事業目的

身体的または、精神的に障害があるために日常生活の大半において、介護が必要な高齢者の方を家族に代わって介護させていただきます。

(2) 運営方針

1. 利用者へのサービス向上
2. 職員の資質の向上
3. 地域福祉の増進

(3) サービスの特徴

利用者の有する能力、おかれている環境等の評価に基づき、自立した日常生活が送れるサービスを提供します。

5.ご利用施設で実施する事業

事業の種類		事業指定		定員	備考
		指定年月日	指定番号		
施設	特別養護老人ホーム	平成29年4月1日	福岡県 4070300860号	75人	施設許可
居宅	短期入所生活介護	平成29年4月1日	福岡県 4070300878号	2人	

6.施設の概要

特別養護老人ホーム

敷 地		1,887.67 m ²
建 物	構 造	鉄筋コンクリート陸屋根造 4 階建
	延べ床面積	1,953.26 m ²
	利用定員	77 人（うち短期入所 2 人）

(1) 居室

居室の種類	室数	面積	1人当たりの面積
2人部屋	1室	20.80 m ²	10.4 m ²
3人部屋	2室	24.15 m ²	8.0 m ²
4人部屋	10室	31.35 m ²	7.8 m ²
5人部屋	1室	47.86 m ²	9.5 m ²
6人部屋	4室	47.86 m ²	7.9 m ²

※ 指定基準は、利用者 1 人当たり 4.95 m²

(2) 主な設備

設備の種類	室数等	面積	1人当たり面積
食 堂	1室	40.90 m ²	1.8 m ²
機能訓練室	1室	99.0 m ²	
浴 室	2室	78.4 m ²	1.0 m ²
医 務 室	1室	28.9 m ²	0.3 m ²
相談室	1室	20.8 m ²	0.2 m ²

※食堂及び機能訓練室を合計した面積の指定基準は、利用者 1 人当たり 3.00 m²(経過措置あり)

7.職員の勤務構成

職 種	員 数	区 分		業 務 内 容
		常 勤	非 常 勤	
施 設 長	1	1		業務の一元的管理
生活相談員	1 以上	1		生活相談
介護職員	23 以上	28	2	介護業務
看護職員	4 以上	4		健康、衛生管理
機能訓練指導員	1 以上	1		機能回復訓練
介護支援専門員	1 以上	2		ケアプランの作成
医 師	1		1	回診での早期発見
管理栄養士	1 以上	1	1	食品・衛生管理

8.職員の勤務体制

職種	勤務体制
施設長	正規勤務時間帯（9：00～18：00）常勤で勤務
生活相談員	正規勤務時間帯（9：00～18：00）常勤で勤務
介護職員	早出（7：20～16：20） 中出1（8：00～17：00） 中出（9：00～18：00） 遅出1（9：50～19：00） 遅出2（10：50～20：00） 夜勤（17：00～翌朝10：00）
看護職員	早出（7：20～16：20） 中出（9：00～18：00） 遅出1（9：50～19：00） 夜間帯については、交代で自宅待機を行い、緊急時に備えます。
機能訓練指導員	看護職員が兼務します。
介護支援専門員	介護職員等が兼務します。
医師	毎週水曜日（12：45～14：30）
栄養士	日勤（9：30～18：30）

9.施設サービスの概要

（1）法定給付サービス

概要	内容
食 事	栄養士の立てる献立表により、栄養と利用者の身体状況に配慮したバラエティに富んだ食事を提供します。
排 泄	入所者の状況に応じて適切な排泄介助を行うと共に、排泄の自立についても適切な援助を行います。
入 浴	年間を通じて週2回の入浴または、清拭を行います。
離床、着替え、整容等	寝たきり防止のため、出来る限り離床に配慮します。 生活のリズムを考え、毎朝夕の着替えを行うよう配慮します。 個人としての尊厳に配慮し、適切な整容・口腔保清が日常的に行われるよう援助をします。リネン交換は、週1回以上実施します。
機能訓練	機能訓練指導員による入所者の状況に適合した機能訓練を行い、身体機能の低下を防止するように努めます。 当施設の保有するリハビリ器具 歩行器・平行棒・滑車・肋木（ロフトク）等
健康管理	嘱託医師により、週1回診察日を設けて健康管理に努めます。 服薬の管理は看護職員が責任を持って実施します。 また、緊急等必要な場合には、主治医あるいは、協力医療機関等に責任を持って引き継ぎます。 利用者が外部の医療機関に通院する場合は、その介添えについてできるだけ配慮します。 当施設の嘱託医 診療所：三原クリニック 医師名：三原一力（かずちか） 診察日：毎週水曜日 12:45～14:30

相談及び援助	当施設は、入所及びそのご家族からのいかなる相談についても誠意を持って応じ、可能な限り必要な援助を行う様に努めます。 利用者の施設介護サービスが作成される間についても、当然利用者がその有する能力に応じて自立した日常生活が送れるよう適切な各種介護サービスを提供します。
社会生活の便宜	当施設では、必要な教養娯楽設備を整える共に、施設での生活を実りあるものとするため、適宜、レクリエーション行事を企画します。 主な娯楽設備 クラブ活動（絵画、製作）、カラオケ、プロジェクター 主なレクリエーション行事 夏祭り、運動会、敬老会、誕生会、クリスマス会、忘年会 茶話会、買物、外出レク、お花見他

(2) その他

介護報酬に関連する記録	保険給付の支払日から5年間保管します。
その他の記録	完結日から2年間保管します。
サービス提供記録の閲覧	土、日曜日・祝日を除く毎日午前9時～午後5時

10.施設サービス計画作成

施設サービス計画が作成されるまでの間、日常生活が送れるように適切な各種介護サービスを提供します。施設サービス計画は長くとも6ヶ月毎、または必要なサービスの変更に応じて、適宜見直します。

11.利用者負担金

* 施設サービス費（1日あたりの自己負担額）

介護保険制度では要介護認定による要介護度によって異なります。

下記の料金には地域加算（1.4%）、介護職員処遇改善加算、特定介護職員等処遇改善加算を含みません。

要介護度区分	多床室
	利用単位数/日
要介護度 1	559 単位
要介護度 2	627 単位
要介護度 3	697 単位
要介護度 4	765 単位
要介護度 5	832 単位

※介護サービスを受ける場合は、介護保険利用者負担額減額・免除等認定証などの自己負担割合の額に応じた支払いを受けるものとする。

※介護保険によるご利用者負担額減額・免除等認定証を受けているときは、その認定に基づく支払いを受けるものとする。

（注意）介護給付算定に係る体制等に関する届け出に基づき、認定するものとします。

介護保険の加算料金

介護保険加算	加算単位数	内容
日常生活継続支援加算（Ⅰ）	36 単位／日	算定月から前 6 ヶ月間もしくは 12 ヶ月間に新規入所された入所者のうち、要介護 4～5 の割合が 70%以上又は認知症日常生活自立度がⅢ以上の割合が 65%以上又は入所者総数のうち「たんの吸引等が必要な者の数」の占める割合が 15%以上であり、介護福祉士を入所者の数が 6 又はその端数を増すごとに 1 以上配置している
看護体制加算（Ⅰ）ロ	4 単位／日	常勤の看護師を 1 名以上配置している
看護体制加算（Ⅱ）ロ	8 単位／日	次の要件を満たす施設 ①看護職員を常勤換算方法で入所者数が 25 又はその端数を増すごとに 1 名以上配置 ②当該事業所の看護職員により、又は病院・診療所・訪問看護ステーションの看護職員との連携により、24 時間の連絡体制を確保
夜勤職員配置加算（Ⅰ）ロ	13 単位／日	・17 時～9 時までの間、最低基準を 1 以上上回っていること <見守り機器を導入した場合の要件> ・夜勤職員の最低基準+0.9 名分人数を多く配置 ・入所者の動向を検できる見守り機器を入所者数の 15%以上に設置 ・施設内に見守り機器を安全かつ有効に活用するための委員会を設置し、必要な検討等が行われていること
口腔衛生管理体制加算	30 単位／月	口腔ケアに係る技術的助言及び指導を月 1 回以上行っている場合
栄養マネジメント加算	14 単位／日	入所者の栄養状態を評価し、状態に応じた栄養マネジメントを行った場合（栄養ケア計画作成し、説明、同意を得た後に算定します）
療養食加算	6 単位／回	医師の食事せんに基づき療養食を提供した場合 ※1 日につき 3 回を限度
外泊時加算	246 単位／日	入院及び外泊の場合 6 日を限度として加算（ただし入院・外泊の初日及び末日のご負担はありません）
初期加算	30 単位／日	入所後 30 日に限り加算
配置医師緊急時対応加算	650 単位／回 (早朝・夜間の場合) 1,300 単位／回 (深夜の場合)	・入所者に対する緊急時の注意事項や病状等についての情報共有の方法及び医師との連携方法や診察を依頼するタイミングなどについて具体的な取り決めがあること ・複数名の医師を置いている若しくは配置医師と協力医療機関の医師が連携し、24 時間対応できる体制を確保していること ・看護体制加算Ⅱを算定していること

排せつ支援加算	100 単位／月	排せつに介護を要する利用者のうち、身体機能の向上や環境の調整等によって排泄にかかる要介護状態を軽減できると医師、または適宜医師と連携した看護師が判断し、利用者もそれを希望する場合、多職種が排泄にかかる各種ガイドライン等を参考として、 ・排泄に介護を要する原因等についての分析 ・分析結果を踏まえた支援計画の作成及びそれに基づく支援 を実施することで、一定期間、高い評価を行う
褥瘡マネジメント加算	10 単位／月 ※3月に1回を 限度とする	①入所者全員に対する要件 入所者ごとの褥瘡の発生に係るリスクについて、モニタリング指標を用いて、施設入所時に評価するとともに、少なくとも3月に1回、評価を行い、その評価を行い、その評価結果を提出すること ②①の評価の結果、褥瘡の発生に係るリスクがあるとされた入所者に対する要件 ・関連職種の者が共同して、入所者ごとに褥瘡管理に関する褥瘡ケア計画を作成すること ・褥瘡ケア計画に基づき、入所者ごとに褥瘡管理を実施すること ・①の評価に基づき、少なくとも3月に1回、褥瘡ケア計画を見直すこと
認知症専門ケア加算（Ⅱ）	4 単位／日	加算（Ⅰ）の基準にいずれも適合すること 認知症介護の指導に係る専門的な研修を終了している者を1名以上配置し、事業所又は施設全体の認知症ケアの指導等を実施していること 当該施設における介護職員、看護職員ごとの認知症ケアに関する研修計画を作成し、当該計画に従い、研修を実施又は実施を予定していること
夜勤職員配置加算（Ⅲ）ロ	16 単位／日	・17時～9時までの間、最低基準を1以上上回っていること ・夜勤時間帯を通じて、看護職員を配置していること又は喀痰吸引等の実施ができる介護職員を配置していること（この場合、登録喀痰吸引等事業者として都道府県の登録が必要） <見守り機器を導入した場合の要件> ・夜勤職員の最低基準+0.9名分人数を多く配置 ・入所者の動向を検できる見守り機器を入所者数の15%以上に設置 ・施設内に見守り機器を安全かつ有効に活用するための委員会を設置し、必要な検討等が行われていること

看取り介護加算（Ⅰ）	144 単位／日 （死亡日以前 4 日～30 日）	<p>医師が医学的知見に基づき回復の見込みがないと診断した者</p> <p>医師、看護職員、介護支援専門員その他の職種の者が共同で作成した入所者の介護に係る計画について、医師等のうちその内容に応じた適当な者から説明を受け、当該計画について同意している者</p> <p>看取りに関する指針に基づき、入所者の状態又は家族の求めに応じ随時、医師等の相互の連携の下、介護記録等入所者に関する記録を活用し行われる介護についての説明を受け、同意した上で介護を受けている者</p>
	680 単位／日 （死亡日の前日 及び前々日）	
	1,280 単位／日 （死亡日）	
看取り介護加算（Ⅱ）	144 単位／日 （死亡日以前 4 日～30 日）	<p>「配置医師緊急時対応加算」における要件のうち、以下 1～4 に示した医療提供体制を整備し、さらに施設内で看取った場合</p> <p>1、入所者に対する緊急時の注意事項や病状等についての情報共有の方法及び曜日や時間帯ごとの医師との連絡方法や診察を依頼するタイミングなどについて、配置医師と施設の間で、具体的な取り決めがなされていること。</p> <p>2、複数名の配置医師を置いていること、若しくは配置医師と協力医療機関の医師が連携し、施設の求めに応じて 24 時間対応できる体制を確保していること</p> <p>3、上記の内容につき届け出を行っていること</p> <p>4、看護体制加算（Ⅱ）を算定していること</p>
	780 単位／日 （死亡日の前日 及び前々日）	
	1,580 単位／日 （死亡日）	
生活機能向上連携加算	200 単位／月	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問リハビリテーション若しくは通所リハビリテーションを実施している事業所又はリハビリテーションを実施している医療提供施設の理学療法士等が、介護老人福祉施設を訪問し、職員と共同で、アセスメントを行い、個別機能訓練計画を作成する ・機能訓練指導員、看護職員、介護職員、生活相談員その他職種の者が協働して、当該計画に基づき、計画的に機能訓練を実施すること
	100 単位／月 ※個別機能訓練加算 を算定している場合	
個別機能訓練加算	12 単位／日	機能訓練指導員による計画的な個別機能訓練を行った場合
在宅サービスを利用したときの費用	560 単位／日	<p>入所者に対して居宅における外泊を認め、当該入所者が、介護老人福祉施設により提供される在宅サービスを利用した場合、1 月に 6 日を限度として算定される</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外泊の初日及び最終日は算定できない ・外泊時費用を算定している際には、併算定できない

口腔衛生管理加算	90 単位／月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が、入所者に対し、口腔ケアを月 2 回以上行うこと ・ 歯科衛生士が、当該入所者に係る口腔ケアについて、介護職員に対し、具体的な技術的助言を及び指導を行うこと ・ 歯科衛生士が、当該入所者に係る口腔に関し、介護職員からの相談等に必要に応じ対応すること <p>※口腔衛生管理体制加算を算定していない場合、算定しない</p>
再入所時栄養連携加算	400 単位／回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険施設の入所者が医療機関に入院し、施設入所時とは大きく異なる栄養管理が必要となった場合であって、介護保険施設の管理栄養士が当該医療機関での栄養食事指導に同席し、再入所後の栄養管理について当該医療機関の管理栄養士と相談の上、栄養ケア計画の原案を作成し、当該介護保険施設へ再入所した場合に、1 回限り算定できること ・ 栄養マネジメント加算を算定していること
身体拘束廃止未実施減算	所定単位数から 10%／日を減算	<p>身体的拘束等の適正化を図るため、以下の措置を講じなければならないこととする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身体拘束等を行う場合には、その態様及び時間、その際の入所者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由を記録すること ・ 身体拘束等の適正化のための対策を検討する委員会を 3 月に 1 回以上開催するとともに、その結果について、介護職員その他従業者に周知徹底を図ること ・ 身体拘束等の適正化のための指針を整備すること ・ 身体拘束等の適正化のための研修を定期的実施すること
サービス提供体制強化加算 (I) イ	18 単位／日	介護福祉士が 60%以上であること
サービス提供体制強化加算 (I) ロ	12 単位／日	介護福祉士が 50%以上であること
サービス提供体制強化加算 (II)	6 単位／日	常勤職員が 75%以上であること
サービス提供体制強化加算 (III)	6 単位／日	3 年以上の勤続年数のある者が 30%以上配置されている
個別機能訓練加算	12 単位／日	機能訓練指導員による計画的な個別機能訓練を行った場合
経口移行加算	28 単位／日	経管により食事を摂取する入所者が、経口摂取をすすめるために、医師の指示に基づく栄養管理を行う場合
経口維持加算 (I)	400 単位／月	著しい摂食機能障害が認められる入所者に対し、栄養管理をするための食事の観察及び会議等を行い、医師の指示に基づいた経口維持計画を作成し、経口による食事の摂取を進めた場合

経口維持加算（Ⅱ）	100 単位／月	経口維持（Ⅰ）を算定している場合であって、入所者の経口による継続的な食事の摂取を支援するための食事の観察及び会議等に、歯科医師等が加わり、経口摂取を進めるための特別な管理を行った場合
在宅復帰支援機能加算	10 単位／日	入所者の退所後に指定居宅介護支援事業者に必要な情報の提供、居宅サービスの利用に関する調整を行った場合
在宅・入所相互利用加算	40 単位／日	複数人があらかじめ在宅期間及び入所期間（3 ヶ月が上限）を定め同一の個室を計画的に使用した場合（要介護以上の入所者のみ）
退所前訪問相談援助加算	460 単位	入所期間が1 ヶ月を超える入所者の退所に先立って介護支援専門員等が居宅を訪問し、入所者及び家族に対して退所後のサービスについて相談援助を行った場合に入所中1回のみ算定
退所後訪問相談援助加算	460 単位	入所者の退所後、30 日以内に入所者の居宅を訪問し、入所者及び家族に相談援助を行った場合に退所後1回のみ算定
退所時相談援助加算	400 単位	退所時に入所者や家族等に相談援助を行い、かつ居宅サービスに必要な情報提供を行った場合に1回のみ算定
退所前連携加算	500 単位	退所に先立って指定居宅介護支援事業所に対して、文書を添えて入所者に関わる居宅サービスに必要な情報を提供し、かつ指定居宅介護支援事業所と連携して退所後の居宅サービスの利用に関する調整を行った場合に1回のみ算定
認知症行動・心理症状緊急対応加算	200 単位／日	認知症日常生活自立度がⅢ以上であって、認知症行動・心理症状が認められ、在宅生活が困難であると医師が判断した者を受入れた場合（入所から7日を限度）
若年性認知症利用者受入加算	120 単位／日	若年性認知症の者を宿泊により受入れた場合
介護職員処遇改善加算		（Ⅰ）：所定単位数の8.3%を加算 （Ⅱ）：所定単位数の6.0%を加算 （Ⅲ）：所定単位数の3.3%を加算
特定介護職員等処遇改善加算		（Ⅰ）：所定単位数の2.7%を加算 （Ⅱ）：所定単位数の2.3%を加算

※上記の加算を算定する場合、必要な人員配置は満たしています。

※加算算定用件の詳細は、契約時に別途説明します。

※介護保険料を一定期間滞納すると、その期間に応じて「償還払い」「保険給付の一時差し止め」「1割負担から3割負担」の保険給付の制限を行う場合があります。

※加算の仕組み上、施設退所後に費用請求が発生する場合がございますので、ご了承下さい。

※負担段階の設定

負担段階	対象者の例
第1段階	・ 市民税世帯非課税の老齢福祉年金受給者 ・ 生活保護受給者
第2段階	・ 市民税世帯非課税者であって、資産要件を満たす者 ・ 合計所得金額＋年金収入額が80万以下の者
第3段階	・ 市民税世帯非課税者であって、資産要件を満たす者 ・ ご利用者負担第2段階該当者以外の者
第4段階	・ 上記以外の者

居住費・食費（介護保険給付対象外）

居住費（滞在費）（1日あたりの自己負担額）

本人及び配偶者の所得、課税、資産状況に応じて支払額が異なります。

入所者負担段階	4段階 (基準額)	3段階	2段階	1段階
多床室（光熱水費）	855円	370円	370円	0円

*利用者が介護保険負担限度額認定書を受けているときは、その認定に基づく支払いを受けるものとします。

*入院、外泊期間中はその認定に基づいた居住費のみかかります。

入院、外泊期間中は7日目より居室確保料金が発生します。

(利用居室に応じて多床室855円/日別途算定されます。この算定は全利用者に適用となります。)

<食事の負担金>

段階区分	第4段階(基本)	第3段階	第2段階	第1段階
食費の負担額	1,392円※	650円	390円	300円

※基準額食費内訳

種類	ご利用者負担金	備考
朝食	384円	朝食のキャンセルは前日午後17:00まで
昼食	504円	昼食のキャンセルは当日午前10:00まで
夕食	504円	夕食のキャンセルは当日午後16:00まで

・「食費」について、朝食は前日午後17:00まで、昼食は当日午前10:00まで、夕食は当日午後16:00までにキャンセルをしていただかなかった場合は、ご利用者負担金を徴収することになりますのでご了承下さい。

・尚、ご入院や病院受診等によりキャンセルが間に合わず、食事を食べなくてもご利用者負担金を徴収する場合がございますのでご了承下さい。そのため、外出や外泊の際は、事前にご連絡をお願いいたします。

・介護保険負担限度額認定証を受けているときは、その認定に基づく支払いを受けるものとします。

- ① 施設は利用者が支払うべき介護保険給付サービスに要した費用について、利用者が介護サービス費として市町村から支給を受ける額の限度において、利用者に代わって市町村から支払を受けます。（「法定代理受領サービス」といいます。）
- ② 介護保険の適用を受けるサービスの場合は、原則としてサービス費の1割または2割と食費、居住費の合計をお支払いいただきます。
- ③ 保険料の滞納などにより、サービス費の「入居者自己負担」で利用できなくなる場合は、滞納した期間に応じて「給付制限」を受けることとなります。

(2) 介護保険給付外サービス

サービスの種類	内 容
理容・美容	<金額> カットのみ(男性) 1,100円 カットのみ(女性) 1,320円 カット(顔剃りを含む) 1,650円 カット・毛染め(顔剃りを含む) 実費 カット・パーマ(顔剃りを含む) 実費 ※ その他オプションについては別途費用がかかります。
日常生活に要する費用で本人の負担となるもの	要した費用の実費 日常生活の購入代金 個人的な創作費用 クリーニング代(施設以外の依頼の分) インフルエンザ予防接種や写真等

(3) お支払い方法

当月分を翌月末日までに当施設指定の金融機関までお振込みをお願いいたします。

※ ゆうちょ銀行の口座を開設されている方は、自動引き落としが可能です。

(4) 領収書の発行

利用者からお支払いを受けたときはお支払のあった翌月に領収書を発行します。

12. 非常災害時の対策

非常時対応	別途定める「消防計画」にのっとり対応			
平常時の訓練等 防災設備	別途定める「消防計画」にのっとり年 2 回夜間及び昼間を想定した避難訓練を入所の方にも参加して実施しています。			
	設備名称	個数等	設備名称	個数等
	スプリンクラー	有	防火扉・シャッター	2 箇所
	避難用滑り台	1 箇所	屋内消火栓	有
	自動火災報知器	有	非常通報装置	有
	誘導灯	18 箇所	漏電火災報知器	無
	ガス漏れ報知器	無	非常用電源	有
	カーテン布団等は防災性能のあるものを使用しております。			
消防計画等	消防署への提出日：平成 28 年 6 月 1 日 防火管理者：渋谷 諭 史			

13-1. 協力医療機関

名称	三原クリニック
院長名	三 原 潤 二
所在地	北九州市戸畑区旭町 2-14
電話番号	093-881-1261
診療科	内科、整形外科、リハビリテーション科
入院設備	無
救急指定の有無	無
契約の概要	利用者・新規利用者の健康管理、随時診察の協力、救急を要する対応 入院治療を要する手続き 緊急時に入院するベッド確保の協力 24 時間等緊急対応の協力 死亡確認の協力、その他

名称	医療法人 医和基会 戸畑総合病院
院長名	本 村 良 次
所在地	北九州市戸畑区福柳木 1 丁目 3-33
電話番号	093-871-2760
診療科	内科・循環器内科・呼吸器内科・外科・消化器外科・呼吸器外科・整形 外科・形成外科・小児科・産婦人科・眼科・脳神経外科・皮膚科・泌尿 器科・歯科・歯科口腔外科
入院設備	有
救急指定の有無	有
契約の概要	随時診察の協力、救急を要する対応、入院治療を要する手続き 緊急時に入院するベッド確保の協力 24 時間等緊急対応の協力その他

13-2.協力歯科機関

名称	医療法人宝歯会 かじわら歯科
院長名	梶原 浩喜
所在地	北九州市若松区下原町 1-1
電話番号	093 (771) 8604
診療科	歯科
入院設備	無
救急指定の有無	無
契約の概要	歯科診療を必要とする利用者に対して、予防も含め歯科診療を行う。 その際、歯科診療内容（疾患名、治療計画等）を提示する。 必要に応じて家族にも説明報告をする。

名称	あすか歯科クリニック
理事長名	濱口 真臣
所在地	北九州市小倉北区日明 4 丁目 6-27
電話番号	093 (231) 6480
診療科	歯科
入院設備	無
救急指定の有無	無
契約の概要	歯科診療を必要とする利用者に対して、予防も含め歯科診療を行う。 その際、歯科診療内容（疾患名、治療計画等）を提示する。 必要に応じて家族にも説明報告をする。

14.相談窓口,苦情対応

★サービスに関する相談や苦情については、次の窓口で対応します。

施設長	神野 みどり 090-3010-9832
当施設ご利用相談室	窓口担当者：生活相談員 ご利用時間：午前9時～午後5時 ご利用方法：電話 093 (881) 2066 来園 意見箱（2階エレベーター前に設置）
第三者委員	竹原 穂 様 八幡東区民生委員：093 (661) 7370 佐藤 暎子 様 戸畑区大谷地区民生委員協議会会長：093 (881) 6641 尾池 義昭 様 戸畑区民生委員児童委員協議会副会長：093 (871) 3259

★公的機関においても、次の機関において苦情申出ができます。

高齢者・障害者相談コーナー (介護保険担当)	<p>【戸畑区】 所在地：〒804-8510 北九州市戸畑区千防1-1-1 電話番号：093 (871) 1501 内線472 FAX番号：093 (881) 5353</p>
	<p>【八幡東区】 所在地：〒805-8510 北九州市八幡東区中央1-1-1 電話番号：093 (671) 0801 内線472 FAX番号：093 (662) 2781</p>
	<p>【若松区】 所在地：〒808-8510 北九州市若松区浜町一丁目1-1 電話番号：093 (761) 5321 FAX番号：093 (751) 2344</p>
	<p>【八幡西区】 所在地：〒806-8510 北九州市八幡西区黒崎三丁目15-3 電話番号：093 (642) 1441 内線472 FAX番号：093 (642) 2941</p>
	<p>【小倉北区】 所在地：〒803-8510 北九州市小倉北区大手町1-1 電話番号：093 (582) 3433 FAX番号：093 (562) 1382</p>
	<p>【小倉南区】 所在地：〒802-8510 北九州市小倉南区若園五丁目1-2 電話番号：093 (951) 4111 FAX番号：093 (923) 0520</p>
	<p>【門司区】 所在地：〒801-8510 北九州市門司区清滝一丁目1-1 電話番号：093 (331) 1881 FAX番号：093 (321) 4802</p>
	<p>*各区とも、対応時間は平日午前8時30分～午後5時*</p>

福岡県 国民健康保険団体連合会 (国保連)	所在地：福岡市博多区吉塚本町 13 番 47 号 電話番号：092 (642) 7859 FAX 番号：092 (642) 7857 対応時間：午前 8 時 30 分 ～ 午後 5 時
福岡県運営適正化委員会 (福岡県社協)	所在地：春日市原町 3-1-7 クローバープラザ 4 階 (東棟) 電話番号：092 (915) 3511 FAX 番号：092 (915) 3512 対応時間：午前 8 時 30 分 ～ 午後 5 時 (休日：第 1・2・3 月曜 ※祝日の時は翌日が休日)

★成年後見制度・権利擁護においても、次の機関において相談ができます。

成年後見制度 福岡家庭裁判所小倉支部 家事受付センター	所在地：北九州市小倉北区金田一丁目 4 番 1 号 電話番号：093 (561) 3431 対応時間：平日午前 9 時 ～ 11 時 午後 1 時 ～ 4 時 30 分
権利擁護センター 「らいと」	所在地：北九州市戸畑区汐井町 1 番 6 号 ウェル「とばた」内 8 階 電話番号：093 (882) 4914 FAX 番号：093 (882) 2266 対応時間：平日午前 8 時 30 分 ～ 午後 5 時

15.事故発生時の対応

万が一施設利用中事故が発生した場合は、速やかに応急処置を行うと共に、ご家族・区市町村に連絡致します。ご家族の指示によってかかりつけ医・協力病院・救急医療センターに相談・受診等の対応を行いますので、あらかじめ緊急時の連絡先を担当者へお伝え下さい。

16.損害賠償責任保険

保 険 会 社	あいおいニッセイ同和損害保険(株)
保 険 内 容	人身事故、財物事故等

令和 年 月 日

介護老人福祉施設サービスの開始にあたり、利用者に対して契約書及び本書面に基づいて重要な事項を説明しました。

〈事業者〉所在地 北九州市戸畑区沢見2丁目5-2

事業所名 社会福祉法人 誠光会
特別養護老人ホーム さわみ園

代表者名 施設長 神野みどり 印
(指定番号4070300860号)

〈説明者〉所属 特別養護老人ホーム さわみ園

氏名 生活相談員 渋谷諭史 印

私は、契約書及び本書面により、事業者から介護老人福祉施設サービスについて重要な説明を受けました。

〈利用者〉

所在地 _____

氏名 _____ 印

〈ご家族〉

所在地 _____

氏名 _____ 印

続柄（利用者との関係） _____

個人情報の使用に係る同意書

社会福祉法人 誠光会が、利用者及び家族の個人情報を以下の利用目的の必要最低限の範囲内で使用、提供、または収集することに同意します。

1. 利用期間

介護サービス提供に必要な期間及び契約期間に準じます。

2. 利用目的

- (1) 介護保険における介護認定の申請及び更新、変更のため
- (2) 利用者に関わる介護計画（ケアプラン）を立案し、円滑にサービスが提供されるために実施するサービス担当者会議での情報提供のため
- (3) 医療機関、福祉事業者、介護支援専門員、介護サービス事業者、自治体（保険者）、その他社会福祉団体等との連絡調整のため
- (4) 利用者が、医療サービスの利用を希望している場合および主治医等の意見を求める必要のある場合
- (5) 利用者の利用する介護事業所内のカンファレンスのため
- (6) 行政の開催する評価会議、サービス担当者会議
- (7) 施設内での掲示物（個人作品等を含む）や施設情報誌（園だより等）における利用者の氏名、年齢、性別、生年月日、顔写真等の掲載
- (8) その他サービス提供で必要な場合
- (9) 上記各号に関わらず、緊急を要する時の連絡等の場合

3. 使用条件

- (1) 個人情報の提供は必要最低限とし、サービス提供に関わる目的以外決して利用しない。また、利用者とのサービス利用に関わる契約の締結前からサービス終了後においても、第三者に漏らさない。
- (2) 個人情報を使用した会議の内容や相手方などについて経過を記録し、請求があれば開示する。

令和 年 月 日

〈利用者〉 氏名 _____ 印

〈ご家族〉 氏名 _____ 印

続柄（利用者との関係） _____